



令和8年度

浅田の原

令和8年4月8日
第1号
秩父市立高篠中学校

浅田の原に 三方の風を呼ぶ

校庭の木々が瑞々しい若葉を蓄え、春の息吹が五感に心地よく響く季節となりました。本日、期待と不安を胸に抱いた新入生を迎え、全校生徒が揃って令和8年度の教育活動を力強くスタートさせることができました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新たなタイトル「浅田の原」に込めた願い

さて、今月号より本校の学校便りの題名を「浅田の原」と改めました。

ご存知の通り、この言葉は校歌の一節に「浅田の原の 春秋に 訓えも 高き 武甲嶺や」と歌い継がれてきた、私たちの心の原風景です。

この秩父の豊かな自然に抱かれた高篠の地で、生徒たちが大地にしっかりと根を張り、爽やかな風を自ら呼び起こす存在であってほしい。そして、この場所がいつまでも生徒たちの心の拠り所（ホーム）であり続けてほしいという願いを込め、タイトルに据えました。

「三方よし」で創る高篠中学校の教育

今年度、学校経営の根幹に「三方よし」の精神を置きます。近江商人の心得として知られるこの言葉を教育に置き換え、「生徒よし」「保護者・地域よし」「学校よし」の三者が共に響き合い、幸せを実感できる学校づくりを目指します。

「生徒よし」ー 主体的に学び、個性を伸ばす

一人ひとりが「わかった」「できた」を実感できるよう、個別最適な学びと対話的な授業を推進します。生徒が主役となり、自らの可能性を広げる場を創ります。

「保護者・地域よし」ー 信頼と誇りの醸成

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を核に、地域の声を教育に反映させます。「高篠中に入れてよかった」「高篠中は地域の誇りだ」と感じていただける開かれた学校運営に努めます。

「教職員よし」ー 情熱と専門性の向上

教職員が心身ともに健康で、情熱を持って生徒と向き合える環境を整えます。働き方改革を推進しつつ、プロとしての指導力を磨き続け、質の高い教育を還元します。

教育は、学校・家庭・地域の三者が手を取り合い、同じ方向を向いてこそ大きな成果を生みます。「浅田の原」に集う全ての生徒が、この一年間で自分自身の「花」を咲かせられるよう、私たち教職員一同、情熱を持って教育活動に邁進する所存です。

一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。